

ひろば大代

NO.386

大代まちづくり
センター

H23. 9.23

「敬老の日特集」
おめでとうございます！



米寿の祝



喜寿の祝

18日、89名の出席者を迎えて敬老会が小学校屋体で開催されました。一年振りのご対面に「あんな元気だったかな？」「あたしや元気だったに！」それぞれ賑やかな挨拶が始まり、子供たちや石見銀陵歌謡会のアトラクションに楽しい一時を過ごしました。

米寿(88歳)を迎えて

下市 渡 綾子



京都生まれの京都市育ち、八人の(姉兄弟妹)の三番目、父の職業が医師だったので、看護師さん達も一緒の大家族で大賑やかでした。昭和の頃は、男子優先で私と三つ違いの妹は至って自由？に育てられた気が致します。父は俳誌「ホトトギス」同人だったので俳句関係のお客様も多く、私も自然に俳句を作る様になりました。俳句は大きく高く広く、才能の乏しい私には中々納得のいく句はできませんが、これからは私なりの句を心掛けていきたいし、それに良き俳友にも恵

喜寿(77歳)を迎えて

柿田 谷口光枝



まれて引つ張って下さるので幸せです。これからも周りの方々にご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願ひ致します。「秋晴や米寿の文字のくつきり」と

「谷口さん！ラブレターよ」茶色の封筒を見せられ、「ドキッ」喜寿を迎えられおめでとうございませ。何でもいいから書いてとの原稿依頼。喜寿と聞いて、両親よりも長生きさせてもらった喜びでいっぱいです。これも偏に皆様の温かい支えによって、今日のこの日を迎えることが出来ましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。今ちよつと腰を痛めて仕事が思うように出来ず、悔しい思いをしています。が、まだまだ口では「何でも出来るんだ」と言い聞かせながら、日々頑張っております。敬老会のお世話をして下さいますそれぞれ役員の皆様方、本当に有難う

ございます。又来年も元気にお会いできまますよう祈りながら。

〓 新入会員 〓

敬老の口を廻せし



川上 熊谷博子

「敬老の日」を迎えられ、おめでとうございます。一言：：」との「ひろば大代」への原稿依頼がきました。

忘れもしない三月十一日の東日本大震災、それに伴い福島第一原子力発電所の事故等、日本国をゆるがす大事故。あの津波、誰が想像したでしょうか。テレビを観ていて、悪夢としか言い様のない光景に声もでなかった。

あれから半年近くなると云うのに、いまだに行方不明の消息を尋ねあるき、生きていられた事を感謝し、一歩一歩起きあがろうと努力されている姿を見て胸に迫るものがあります。

私達は縁豊かな山陰に生まれ育ち、生活できる喜びをかみしめています。幸いにして夫婦そろって敬老の日を迎えられた事を感謝し、何事もくよくよせず、前向きに地域の皆様方と共に

余生を送りたいと思っております。

一六六名の招待者様のご健康をお祈り致します。最後になりましたが、敬老の日を迎えられ、おめでとうございます。

ついに私も高齢者



椿 花田時子

幼い頃は病弱だった私が、早くに結婚し三人の子を育て、夫の病気や子の病気を乗り切るため、運転免許を取り働き続けてきましたが、ついに力尽きたのか体中が痛み、ばたばた出来なくなりしました。

それでも敬老会に招かれる齢になり、最大の喜びです。今後どれほどの余生が待っているのやら楽しみでもあり、又恐くもあります。

しかし、今まで程の事は無いだろうと、たかをくくって静かに生活したいと思しますので、地域の皆さん宜しくお願ひします。

「濃く咲きて元気をくれる彼岸花」

私のみちのり

山田 坂本美代子



残暑はまだまだ厳しいですが、空の色と吹く風は、もうすっかり秋の気配です。

稲刈の始まった田んぼを眺めながら、迷いながら始めた稲作り、背中を押していたただいた近所の方達に感謝でいっぱいです。まちセンからの封書を受け取り、なにかしらと開いてみてびっくりしました。敬老会のお知らせと原稿の依頼で、思ってもいなかったことです。ここ数年思いがけない事が続き、自分の歳すら気付かぬまま、いつの間にかこんなに歳を重ねたのかと思うばかりです。

年末から春にかけては町民の皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫びとお礼を申し上げます。お蔭様にて佛様をお迎えして初盆を迎えることが出来ました。有難うございました。まだまだ生きたか

つたであろうと思うと、消えた命の分まで残された家族が元気で乗り越えねばと思います。

この地で生かされて、七十四年、夫と刻んだ五十余年。振り返ってみると深く重い歲月。山間の田んぼの、圃場整備をしながら米作り、和牛・乳牛の飼育。農閑期には出稼ぎもしたり、その時期に三人の子供達も育ってくれました。年を経て、悲しい別れも幾度もありました。今のところ子供と一緒の生活は出来ませんが、いつもこちらの事を気遣いながら、自分の選んだ坂道を頑張っているようです。私もこの大江高山に抱かれ、水のきれいな山田の里が大好きです。これからも地域の皆様に背中を押され、お世話になります。から精一杯生きたいと思っています。

「三中吹奏楽部」 「素晴らしかった」 「サマーコンサート」

上市 木村悦子



8月21日(日) 第33回三中サマーコ

ンサートに行ってきました。

思えば、長男が三中吹奏楽部に入部して以来10年間、毎年楽しみに出掛けしているコンサートです。私にとって、忙しいお盆を無事終え、ホッと一息つける至福の夕べです。

第一部、先ずは今年度、吹奏楽コンクール出場曲「秋の平安京」で始まりました。とても素晴らしい演奏でした。この曲で、県大会金賞1位、また、このコンサート後、8月28日広島で行われた中国大会でも、みごと金賞1位という輝かしい成績を受賞されただけはあるものでした。

第2部では、劇を交えての楽しい演奏。忙しい合い間をぬつての準備、さぞご苦労だったことと察します。

第3部では、OBを含めての合同演奏。OB以外で毎年見かける方も何人かいらつしやいます。「三中のサマーコンサートは、吹いていて楽しくて、毎年参加しているんだよ」と、うれしい言葉をいただきました。

歌あり、踊りあり、クイズあり、また笑いあり、涙ありの盛り沢山でアットホームなコンサートも、あつと言う

間に終わりました。

部員数わずか13名、そんな少人数なにお客様も年々盛りあがりを感じられるのは、私だけではないはずですよ。

これも、部員の皆さんはもちろん顧問の角国先生、副顧問の先生方の並々ならぬ努力の賜物と、頭の下がる思いです。

また、多くの楽器の搬入をはじめ、子どもさんの送迎、体調管理等、保護者の方の大きな支えがあつて、皆さんがひとつになつ



てこそ、このような素晴らしい演奏が出来ると、つくづく感心させられました。

三中の吹奏楽の一番の特徴は、何と言っても「楽器の持ち替え」だと思います。ここにこの音が欲しいから音を足していく為に、1人が、いくつもの楽器を担当していく方法です。こうすることによって、わずか13名程であるにもかかわらず、重圧感のある曲作りが出来ているのだと思います。

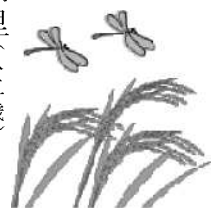
今の三中の生徒にとっては、当り前の事なのですが、世間一般では考えられないことです。これは少子化に伴い、数年前から取り組まれていた三中独自の取り組みです。音楽は人数ではない、それにかかわる人々の音楽に対する情熱とか意識により、何倍も素晴らしいものになる事を証明してくれる三中の皆さんに乾杯です。

ちなみに我が家は長男、長女も演奏に参加してもらい、主人はビデオ撮影。三男と私はゆっくり聴かせてもらい、皆で楽しんだサマーコンサートでした。皆さんも是非来年こそ、足を運んでみられてはいかがでしょう？

ふる里を共有する

方々への手紙

大田市 原田萬里(八二歳)



諺に「古きを尋ね、新しきを知る」と云う言葉があります。縁あって最近「八代村誌抜粋」に出合、胸を轟かせながら読みました。

時代は定かではありませんが、高山大人(徳の高い人)が高山の南面六・七合目の滝岩の間の深い岩屋に籠っていました。大人は弓矢の名人で狩りをして暮らしをしていました。

大人の住む家を「新屋」と呼び、文武・智・仁・勇に長じ、馬術は驚く程で大江高山の一枚滑らの大瀧を馬で登っていました。其の馬の蹄の跡が今でも残っていると云われています。

大人の子孫が伊勢神宮の分霊を大江高山の頂に祀り、参拝道は祖式の伊勢階であったようです。然し山頂は北風が強くて、一年に二・三回も修理がかかりそれに耐えられず、山麓の「高山ヶ原」に社をうつしました。

その当時の新屋の大人の処へ、征夷大将軍源経基が九州の賊を平らげるために、山陰道を下向中に大江高山に登り、山頂からの眺望のよさと、鳥獣の多さに感心して、帰途も此処に立ち寄り「巻狩り」をすると決めて九州へと下向されました。

その時の村長(村のまとめ役)は山腹の岩穴に、三匹の小熊を養って居る事を告げ、巻狩りから外す事をゆるされました。

天慶五年十一月十八日十二月十日まで、岩穴から十町四面を柵をして熊に一日米三升を与え巻狩りから守ってやりました。

巻狩りが済み柵を取り除く時、村長が崖から転落気絶しました。其処へ前出の熊の子三匹が来て、村長の体を二・三時間摩擦すると、村長は本心を取り戻しました。夜も村長の家まで行き看病したと云うことです。

私は此の村誌を読んで、遠く先祖の心情を追憶し、此の心情が今の私達の心情として受け継がれていると思わざるを得ませんでした。

ふる里の今を考える時、過疎化する

現実に腐心され・伝統芸能の継承に汗を惜しまない姿の崇高さ、「ひろば大代」三〇四月号の小中学生の卒業・入学・進学の言葉の純真さも遠く先祖からの継承であると信じます。

私ごとを申しますと、少年の頃父は大江高山の大瀧の東面で木炭の生産をしていました。それを手伝うのは子供の仕事でした。そこらの山吹で炭俵の蓋をつくり一俵の重さは一五kgでした。大瀧沿いに山に登り炭木を切り倒し、滝に投げ入れコンコンと山に餅する音の余韻は今も私の身に沁みえています。大江高山は私を育てくれた慈母のように懐かしく思っています。



※写真の中央の谷が大瀧です。炭木を切った頃はバス停からも雨季には白い帯のように滝水が見られました。

東京石見高山会総会出席者募集!

総会日時 十一月十三日(日)
お申し込みは十月十一日(火)
までにお願ひします。



町民運動会のお知らせ

十月九日(日)午前九時から
大代小学校校庭にて開催します。
町民の皆さん、お誘い合わせ
是非お出かけください。

大江高山登山道草刈のお知らせ

- 十月十六日(日)
 - 山田集会所前午前八時集合
 - 持参するもの
草刈機・ナタ・ノコギリ等
お弁当・水筒・タオル他
(混合油は準備いたします)
- ※この機会に登山される方も
大歓迎です。ご参加ください。



俳句

あすなる句会

下市 渡 あやこ

夜なべせし頃は昔よ早寝して
霧の世を何十年も生き延びて

柿田 横手いちえ

霧の道誰にも会はで朝散歩
一人居に一畝で足る貝割菜

八反田 森 信子

寝そべりて窓辺月光ほしいまま
愛犬の澄みたる眼秋の風

椿 花田時子

朝涼し上棟式の幣揺れる
落し物さがして歩む霧の道

下市 今田文子

歴史有る町を守りし地蔵盆
月白に牛飼ふ刻となりてをり

川上 岩田律枝

独り居やしきりにちちろ鳴く夕辺
遠き日の父母の姿や夜なべかな

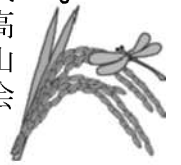
椿 柿丸寿枝

住み慣れて多き付き合ひ露の径
悔みても返らぬ日あり花茗荷



国土交通大臣表彰受賞!

おめでとうございます!



大代高山会

例年、大代高山会が行っております
ハートフルロード事業に対して「道路
や河川の清掃や草刈り、沿道の花壇の
手入れなどに長年取り組む団体」とし
て、町民の皆様の努力が認められ、先
月8月25日(木)松江市県庁にて、溝
口知事より国土交通大臣表彰の伝達式
が行われました。
皆様にお知らせし、これからも皆様
のご協力・ご支援のほどよろしくお願
い申し上げます。



我が家のペット自慢
(上市)

谷口あんくちゃん



よろしくネ!

年齢 6ヶ月 ♀

体は小さいけど声は大きいんです!

10月行事予定

- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- ▼ 9日(日) 町民運動会
- ▼ 16日(日) 大江高山登山道草刈
- ▼ 16日(日) 福祉弁当

- ▼ 18日(火) さくらんぼ教室
- ▼ 23日(日) 連合自治会
- ▼ 29日(土) 婦人会支部長会

お知らせ

大代高山会より

都市交流会においてご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

- 東京石見高山会様 関西高山会様
- 今田 潔様 山根金造様
- 木村滋男様 松本健一様
- 宇井好恵様 下垣圭三様

大代地区社協より

八反田 長谷保孝様から
上飯谷 畑 利徳様から
香典返しにかえ金一封のご厚志を
頂きました。厚くお礼申し上げます。

編集後記

蒸し暑い季節が、台風の通過であつ
という間に冷たい秋風に変えてしま
いました。秋本番は、まだこれからです。
食べ過ぎに注意して、スポーツや読書
に励んでは如何ですか?



☆ ☆